

## は じ め に

国は、社会の現状や 2030 年以降の変化等を踏まえ、社会状況の変化、教育をめぐる状況変化、教育をめぐる国際的な政策の動向について課題意識を持ち、「社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する」「生涯学び、活躍できる環境を整える」といった教育政策の基本的な方針を定めております。

また、北海道におきましては、「自立」と「共生」を基本理念の柱とし、将来を担う子どもたちが、夢と希望に溢れ健やかに成長できるよう教育施策を進めております。

これらはいずれも、自身を取り巻く環境の変化に即座に対応し次代を担う人材の育成と、老若男女問わず全ての人が生きがいを感じられる多様性が尊重される社会の創造へとつながっており、「生きがいと体力づくりで活力に満ちた地域社会づくり」を目指す本町の社会教育も、取り組むべき指針について認識を新たにし、施策の展開を努めていく必要があります。

本町では、地域に織りなす人・文化・自然をこよなく愛し、広い視野に立ってふるさとへの愛着心やふるさとに生きる意欲を喚起するとともに、そこに生きがいを持って精進する町民意識を育むことを目標とする「ふるさと教育」を基軸とし、様々な施策に取り組んでおります。

白糠町社会教育中期計画は、5年に一度、実施した施策を評価・検証し、社会の動向や町民の学習ニーズを踏まえ、次の5年間の社会教育における「ふるさと教育」の実践内容を示すものであります。

第 10 次となる本計画は、まちづくりの基本である『第 8 次白糠町総合計画』、教育行政の方針を定めた『白糠町の教育づくり・白糠町の教育行政のスキーム及び実践プラン（三次改訂版）』に基づき、向こう5年間の実践目標と方策及び推進事項を示し、何をすべきか実践内容が明確となるよう策定いたしました。

本計画の策定にあたり、ご多忙の中にもかかわらず、長時間にわたり熱心なご討議をいただき、答申を賜りました白糠町社会教育委員の皆様には感謝を申し上げます。次第であります。

結びに、町民の皆様が生涯にわたり、文化的で豊かな潤いのある生活が送られるよう本計画を進めてまいりますので、今後ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和 5 年 3 月

白糠町教育委員会教育長 川 島 眞 澄